

## 【参考】居宅介護職員初任者研修の指定申請について

### 1 研修課程の見直しについて（平成 25 年度～）

居宅介護従業者養成研修（1 級・2 級・3 級課程）については、「居宅介護職員初任者研修」及び「障害者居宅介護従業者基礎研修」に改編されました。

※ 訪問介護員に係る研修についても、これまでの 1 級・2 級・3 級研修から、「介護職員初任者研修」に改編されました。

#### 【参考】

	平成 25 年度～	
	訪問介護員養成研修	居宅介護従業者養成研修
1 級課程	介護職員基礎研修とともに「介護福祉士のための実務者研修」へ統合	<b>居宅介護職員初任者研修</b>
2 級課程	<b>介護職員初任者研修</b>	
3 級課程	廃止	障害者居宅介護従業者基礎研修 (※旧 3 級は H22～24 開催実績なし)

### 2 研修内容について

(1) カリキュラム（「介護職員初任者研修課程」と「居宅介護職員初任者研修課程」との違い）

#### ○介護職員初任者研修課程

区分	科 目	時間数	備 考
講義 及び 演習	職務の理解	6	講義と演習を一体で実施すること。必要に応じて、施設の見学等の実習を活用すること。
	介護における尊厳の保持	9	講義と演習を一体で実施すること。
	介護の基本	6	
	介護・福祉サービス理解と医療との連携	9	
	介護におけるコミュニケーション技術	6	
	老化の理解	6	
	認知症の理解	6	
	障害の理解	3	
	こころとからだのしくみと生活支援技術	75	講義と演習を一体で実施すること。介護に必要な基礎的知識の確認及び生活支援技術の習得状況の確認を行うこと。



#### ○居宅介護職員初任者研修課程

区分	科 目	時間数	備 考
		<u>3</u>	
	認知症・ <b>行動障害</b> の理解		
		<u>6</u>	

	振返り	4	講義と演習を一体で実施すること。必要に応じて、施設の見学等の実習を活用すること。				
合 計		130		合 計			

※空白部分は同一内容であること。

- 「介護職員初任者研修」科目の実施のみでは、「障害の理解」のコマが3時間と、「行動障害の理解」のコマが不足することとなります。

【参考】「行動障害について以下の内容等を盛り込むこと」（25.2.20 国事務連絡から）

- ・行動障害とは（行動障害とはどのような状態をいうか）
- ・自閉症の理解（行動障害を起こしやすい自閉症とはどのような障害か）
- ・自閉症の障害特性（コミュニケーションや感性の特性、転動性、時間・空間の整理統合、変更への対応や記憶の維持の困難さ）
- ・行動障害が起きる背景の理解（支援者の不適切な対応が行動障害を誘発していることを知る）
- ・行動障害を起こさせないようにするための支援とは（行動障害を誘発せず、本人が安心して自信をもって生活できるための支援）

### 3 本県における今後の取扱いについて（同一研修で介護・居宅介護職員の研修双方を実施する場合）

- 介護職員初任者研修の研修内容130hを基礎として、
- ・「障害の理解」のコマを3hから6hとします。
  - ・「認知症・行動障害の理解」6hについて、介護職員初任者研修では「認知症の理解」のみで6hなので、「行動障害の理解」分として3hを加え、9hとします。

#### 【「行動障害の理解」の時間数について】

国の基準では、「認知症・行動障害の理解」で6時間とされていますが、詳細な時間数等については、各都道府県で定めることができるとされていることから、本県では、「行動障害の理解」を概ね3時間として扱うこととします。

**従って、同一の研修において、介護職員初任者研修と居宅介護職員初任者研修を実施する場合は、研修時間136h以上として申請していただく必要があります。**

## 4 申請方法

### （1）居宅介護職員初任者研修の指定のみ受ける場合

下表のとおり、130時間以上の研修内容で申請してください。

区分	科 目	時間数
講 義 及 び 演 習	職務の理解	6
	介護における尊厳の保持	9
	介護の基本	6
	介護・福祉サービス理解と医療との連携	9
	介護におけるコミュニケーション技術	6

	老化の理解	3
	認知症・行動障害の理解	6
	障害の理解	6
	こころとからだのしくみと生活支援技術	75
	振り返り	4
合 計		130

(2) **介護職員初任者研修と居宅介護職員初任者研修を同一の日程で実施する場合**

前述のように、「介護職員初任者研修」科目の実施のみでは、「障害の理解」及び「行動障害の理解」の時間数が不足することとなるため、当該不足分を上乗せしたうえで、申請していただくことになります。

従って、以下のとおり、**136**時間以上の内容で申請してください。

区分	科 目	時間数	備 考
講 義 及 び 演 習	職務の理解	6	
	介護における尊厳の保持	9	
	介護の基本	6	
	介護・福祉サービス理解と医療との連携	9	
	介護におけるコミュニケーション技術	6	
	<u>老化の理解</u>	<u>6</u>	介護職員初任者研修では6時間が必須
	<u>認知症・行動障害の理解</u>	<u>9</u>	介護職員初任者研修では、「認知症の理解」のみで6時間が必須であり、別途「行動障害の理解」として3時間実施する必要があります。
	<u>障害の理解</u>	<u>6</u>	居宅介護職員初任者研修では6時間が必須
	こころとからだのしくみと生活支援技術	75	
	振り返り	4	
合 計		<u>136</u>	

**※なお、共通事項として、上記カリキュラムの実施に加え、筆記試験による修了評価（1時間程度）を実施することが必要となったことに御留意ください。**

## 5 その他

平成25年度に初任者研修を行う場合は、新たに県に対し指定申請を行う必要があります。